

工事特記仕様書

1. 井戸仕様

- ア) 掘削口径： $\phi 450\text{mm}$ （15m）、 $\phi 250\text{mm}$ （45m）
- イ) 掘削深度：GL-60m
- ウ) ケーシング口径： $\phi 300\text{mm}$ （15m）、 $\phi 150$ （60m） 材質：VP
- エ) スクリーン：ケーシングスリット加工

2. 施工方法

(1) さく井工

- ア) 掘削工法はロータリー式とし、掘削口径、深度に見合う機種を選定すること。
- イ) 掘削中は、孔内に絶えず泥水を循環または充満させること。
- ウ) 地表部の陥没等防止ならびに掘削中の安全確保のため、孔口保護管(コンダクタパイプ)を設置すること。その深度は地質状況により監督員と協議のうえ決定すること。
- エ) 掘削泥水の管理を適切に行い、逸泥、湧水等による孔壁の崩壊防止に努め、周囲への泥水の散逸は絶対に避けること。
- オ) 掘削記録は地質柱状図に地層の深度、地質名称を記入すること。
- カ) 所定の深度まで掘削後、監督員立会いのもと深度検尺を行い、承認を受けること。

(2) ケーシング、スクリーン

- ア) ケーシングはVPとし、口径は $\phi 150$ 及び $\phi 300$ とする。なお、材料は監督員の承認を受けるものとする。
- イ) スクリーンはスリット加工とし、材質はすべてVPとすること。開口率並びに強度を十分に有するものを選定し、事前に監督員の承認を受けること。
- ウ) ケーシング上端はコンクリート製マスを設置し、異物等が井内へ落下しないようにすること。
- エ) ケーシングが掘削孔に対し中心となるようにすること。
- オ) ケーシングは挿入後も含めて片寄りを防ぐこと。

(3) 砂利充填、遮水

- ア) 充填砂利は取水層の地層粒径に適應した形状、粒形のものを選択し、監督員の承諾を受けること。
- イ) 砂利充填は慎重に行い、ブリッジングが生じないようにすること。さらに、砂利が空隙に対して確実に充填できるように処置を施すこと。
- ウ) スクリーン上端から地表までは遮水を行ない、地表や意図しない帯水層からの侵入を防止すること。遮水方法ならびに遮水区間は事前に監督員の承諾を受けること。

(4)仕上げ

- ア) 井内に残留している泥水や地層粒子はエアーコンプレッサーを使用しエアーリフトにより地上へ確実に排出すること。
- イ) 地層粒子の排出後は水中ポンプを仮設し、水替え作業を行うこと。

(5)水質試験

- ア) 水替え時の清澄水を採取し、すみやかに水道法第20 条第3 項の規定に基づく水質検査登録機関において水質分析を行うこと。検査する項目は水道法の規定による原水全項目とする。
- イ) 原水管理項目：39項目

(6)産業廃棄物処理

本工事で発生する産業廃棄物（汚泥、汚水）は、受注者の責任において適正に処理すること。

3. 提出書類

下記の書類を提出するものとする。

- 1) 地質及びさく井断面図
- 2) ストレーナー、その他必要とする図面
- 3) 完成図書
- 4) 水質試験結果
- 5) その他監督員指示による書類等

4. その他

- 1) さく井予定地は敷地境界線に近接している為、作業には細心の注意を図ること。
- 2) 場外への水質汚濁に細心の注意を図ること。
- 3) 施工上疑義が生じた場合、文書により協議すること。
- 4) 学校敷地内での施工となる為、学校関係者と十分協議すること。また、同学校敷地内で実施している他工事と十分調整し、安全に工事を行うこと。